



会長あいさつ

高林 宏（25 回）



北登会の皆さん、コロナ禍の中いかがお過ごしでしょうか。今年の夏はほとんどの山小屋が閉鎖され、登山も自粛が要請されています。現役部員の夏山合宿も中止とのこと、残念ですね。

北登会の活動としては現役に対しクライミングウォールのメンテナンス費用や山行への同行など支援しています。引き続き会へのご協力をよろしくお願い致します。

先日、大学時代の山の先輩を訪ねて網走市に行き、観光船から知床岬を眺めてきました。

大学時代にサークル仲間と羅臼岳に登り、そこから北に向け縦走して10日間で知床岬に到達しました。誰もいない岬の先端でクナシリ島を間近に見ながら泳いだことはキラキラした宝石のような思い出です。今では世界遺産に登録されているので、入山は厳しく制限されているようです。現役生にも楽しい山の思い出を残してもらいたいですね。（8/19 寄稿）

北高山岳部活動状況

浜松北高等学校山岳部

顧問 佐々木 努



御挨拶と御礼

今年度初めての登山に行ってきました。富士山麓の毛無山です。悪天のため2度延期したにもかかわらず、一日中霧の中でした。富士山の姿は想像するしかありません。予定よりも遅れて山頂に着いたので、雨が岳への縦走はやめました。霧の山頂でも生徒は楽しそうなので連れてきた甲斐があったとホッとしました。白状しますと、今回初めて高校生と登るのが辛いと感じられました。年齢のせいだけではありません。練習不足を痛感しました。振り返ると、生徒を引率しての登山は1月の歩荷大会以来になります。

選手たちは高校総体の県予選のために準備してきたのに、大会と名のつくものは県の独自大会さえ中止に追い込まれました。全員で行くつもりだったスキーをはじめたくさんの計画を中止しました。セレクションをして20人に絞った新入部員たちの、道具は揃えども、練習はすれども山には行けない日々。そんな生徒たちを見ていると、「山は逃げない（から今は我慢しよう）。」という山岳各種団体のメッセージが嘘っぽく聞こえて

北登会ホームページアドレス

<http://www.hokutokai.sakura.ne.jp/>

します。しかしこんな時こそ、普段より慎重、かつ安全に、実施できる登山計画を一つ一つ大切に運営しなければならないのだと思います。

北登会の援助をいただき、クライミングウォールのメンテナンスとルート設定を行いました。10 a～dの新ルートができました。皆様には重ねて御礼申し上げます。長い間お世話になった早瀬先生が部活動をお辞めになった代わりに、若い柴田先生を副顧問に迎えました。これからもよろしくお願いします。（8/14 寄稿）

副顧問 松永 元輝

こんにちは。副顧問の松永です。新型コロナウイルスの影響で、今年は多くの山行が中止となってしまいました。特に高校総体は、男女ともに東海大会出場を目標に頑張ってきただけに残念でなりません。8月8日に3年生の引退登山と1年生の歓迎登山を兼ねて、毛無山に行ってきました。1年生にとっては厳しい行程でしたが、全員無事に帰ってくることができました。また北登会の皆様から行動食とスポーツドリンクの差し入れをいただきました。特にOBの鈴木さんには山行に同行していただき、多くの場面でサポートしていただきました。ありがとうございました。今年は入部希望者が多く、入部テストを経て20名の1年生を仲間を迎えました。元気で明るい学年でこれからの山行が楽しみです。2年生はなかなか山行に行けない中で、部活勧誘を特に頑張りました。彼らに憧れて多くの希望者が集まったのだと思います。山行で1年生をサポートする姿を見て1年間の成長を感じました。3年生は個性が強く変わり者が多いにも関わらず、みんなまとまって仲が良く、山が大好きな学年だと思っています。山に夢中な彼らの姿を見ることが、山行の楽しみでした。北高山岳部での経験は、これからの人生において必ず大きな力になるはずです。これから先、嫌なことや辛いことがあっても、山岳部の仲間が、北登会が、山が忘れさせてくれます。これから寂しくなりますが、たまには部活に顔を出して後輩の指導をしてくれると嬉しいです。（表紙写真後列左から2人目）

副顧問 柴田一樹

毛無山。過去に富士に住んでいたので、名前は耳にしたことがあるが、登るのは今回が初めてであった。容赦のない傾斜ですぐに足が悲鳴を上げた。それでも頑張ることができるのが、山の不思議な魅力の一つ。無事頂上に辿りつけて安堵した。

登山は自然に触れることだと私は思う。私が初めてそう感じたのは、仕事で尾瀬を訪れ至仏山を登った時である。幼少時代を田舎で過ごした私にとって、川で遊んだり、裏山に秘密基地を作ったり、自然はとても身近なものであった。そんな私でも、尾瀬との出会いは今でも記憶に色濃く残っている。自然の雄大さ、自分のちっぽけさ、普段の生活では気づくことのない新しい自分。山が、自然が教えてくれることはいくつになってもある。卒業生の山への愛からも明らかである。現1、2年が引退する時には、現3年の引退の言葉に勝るとも劣らない心の叫びを期待して、副顧問として安全面に配慮しながら、生徒と共に山を楽しみたい。

（表紙写真後列左から1人目）

北高山岳部のR2年度活動予定

3/28、4/11	2次予選校外練習愛鷹山	コロナ中止
4/18-19	県一次予選（笹山・山伏）	コロナ中止
4/25-26	新人歓迎登山（秋葉山）	コロナ中止
4/29	国体県予選（スクエア）	コロナ中止
5/2	校外練習（愛鷹山）	コロナ中止
5/9-10	5月月例山行（愛鷹山）	コロナ中止
5/23-24	県2次予選（愛鷹山）	コロナ中止
6/8-9	6月月例山行（宇連山）	コロナ中止
6/13-14	東海総体下見	コロナ中止
6/19-21	東海総体（鈴鹿山脈南部）	コロナ中止
7/12	7月月例山行（毛無山）	雨天延期
7/25	7月月例山行（毛無山）	雨天延期
8/8	8月月例山行（毛無山）	1～3年生
8/11-14	夏山合宿	コロナ中止
8/30	9月月例山行	沢登り
9/5	ロープクライミング	スクエア
9/12-13	10月月例山行妙高高原 笹ヶ峰～燕温泉	火打山～妙高山
9/22	高校生クライミングコンテスト①	SCC
9/26-27	テント泊訓練(愛知県)	宇連山
10/24-25	競技力向上講習会	愛鷹山
11/3	高校生クライミング選手権	SCC
11/7-8	新人大会	山伏
11/28	12月月例山行	鳳来明神山
12/13	竜爪山競技会	(歩荷大会)
12/20-22	スキー合宿（新潟妙高）	杉ノ原
1/11	高校生クライミングコンテスト②	SCC
1/16	1月月例山行歩荷大会	湖西連峰
2/11	ボルダリング大会	静岡市
2/	救助救急法	日体高
3/6	3月月例山行	宇連山
3/13	高校生クライミングコンテスト③	SCC
3/21-23	スキー合宿予備日	
3/26	校外練習（読図・植生）	愛鷹山系

R2.1.18 北高山岳部の湖西連峰歩荷競争に

OB4名でサポート参加して来ました。雨の中のスタートでしたが、霧の中の湖西連峰もいつもと違う趣でした！途中で雨も上がりゴール時は青空ものぞいてきました。

男子 21kg 女子 17kg で梅田峠から多米峠往復コース。最速は2時間切り、7kg 背負った私より速いペース。さすが若い！またまた下りが速い！伝統の北高下りでした。堀先輩(35)、北嶋君（43）、今井さん(70)お疲れ様でした。（鈴木克 36回）



新入部員の初登山感想



1年 宮田 莉緒

毛無山を登り始めて一番初めに思ったことは、自分の体力で本当に登頂できるか、ということでした。なぜなら想像以上に道が険しく、すぐに息が切れ始めたからです。学校のトレーニングはどれほど意味があったのかと思うほどに実際の登山は精神的にも体力的にも苦しく、もっと体を鍛えておけばよかったという気持ちりが湧き上がってきました。いくら休憩したくても先頭は速く進み続け、心が挫けそうになりながら、足を上げ続けました。しかし、そうしてやっとの思いで山頂に着いたときの達成感は大きく、登山の楽しさを実感できた気がします。帰りは時間が押して結局雨ヶ岳まで行くことができず、来た道を戻ることになりましたが、それでも私にとってはとてもいい思い出になりました。そうした思いを持つことができたのは、やはり部活の仲間のおかげだと思います。これからの山行でもお互い支え合って登山の楽しさをたくさん感じていきたいです。

1年 上野 希

はじめての登山を終えて、私は山の偉大さと登山をすることの楽しさを実感できた。山を登ることは私が想像していたよりも遥かに過酷で、登り始めたときは正直、心が折れそうになった。しかし、余裕が無い中でも山の空気や植物、水の音に意識を向けてみると、普段の生活では感じられない静かさや爽やかな音、風に気づき、足を進める活力になった。また、隣で登っている友達の存在も、私にとって大きな心の支えになった。生憎の天気で、山頂での景色を望むことができなかったのは少し残念だったが、それ以上に部員のみんなと共に自分の足で山を登り切ったという達成感が私の胸の中に大きく残った。引退する3年生の先輩がおっしゃっていたように、山への尊敬を忘れずに、仲間を大切にそしてこれからの登山に臨みたい。そして、山にもっと楽しく登るために、日頃のトレーニングを大切に、また部員との仲も深めていきたい。

1年 砂田 祥真

山は楽しい。毛無山から戻ってきて一日が経ち、僕はまだこの思いに浸っています。今回の山行は僕にとって初めての本格的な登山経験でした。山の中、山の上には日常とは全く違う世界が広がっていました。僕は、白い霧が立ち込めるひんやりとした広葉樹林の中をひたすら登り続けました。ただそれだけの事なの

ですが、山の中は静かでとても居心地が良く、帰ってくるとまたすぐに早くまた山に行きたいという思いに駆られています。楽しさの一方で山の怖さも学びました。登山中は常に、足を滑らせ滑落したり、道に迷ったりする危険と隣り合わせだということがよく分かりました。他にも今回の山行で学んだ事は沢山ありますが、何よりも山の楽しさを知ることが出来て本当に良かったと心から感じています。今後は次の山行に向けて体力作りに励んでいきます。次の山行が待ち遠しいです！

1年 清水 春花

初めての山行で始めは「えっこんなところ登るの?!道じゃない」と驚きました。岩がごつごつしていて一つ一つを登るのも大変でした。頂上までの道のりは想像以上、途中で無理ってなりそうでしたが、頂上まで行けて良かったです!!残念なことに霧で絶景が隠れてしまいましたが、霧の中を歩くのも神秘的な感じがしました。そして、何よりもすごいと思ったことは、先輩達の姿です。私はA班でしたが、先頭で読図をしてくださった部長のれね先輩とあらた先輩は地図を見て、無理やり道にしたような道を正しく進み、私たち後輩の体調まで気にかけてくださいました。フレンドリーに接してくれる先輩ばかりでとても楽しい山行になりました。私も頼りになる優しい人になりたいです。これからも頑張ります!!

1年 森 樹

今回の毛無山への山行で登山というものを少なからず知り、その辛さと楽しさを味わえたと思います。私は山において初心者でしたので、どこかで遠足を想像していたのでしょうか、登山道に入って、傾斜がきつくなった時に、遠足ではなく登山だということを突き付けられました。それからも相当な傾斜が長く続き、三合目付近で自分の鍛え方の甘さを反省しました。先輩や同級生達に、沢山助けてもらいました。山中で過ごすうちに、彼らをより近くに感じ、支えてくれる仲間たちの存在を有難たいと思いました。また、草や花、蛙等の動植物にも触れることができました。彼らにも、多くの助けをもらいました。喜び、有難み、困難等、様々なもののあふれる初登山でしたが、まだまだ未発掘の体験が山には眠っていると私は考えます。まずは次の山行へ向けて、歩荷の重量を増やそうと思います。

1年 結城 萌夏

今まで心からやりたいと思った活動がなかったわたしにとって、初めて自分でやることを決めたのがこの山岳部でした。毛無山に行くまでの日々の活動は地道なものでしたが、それが自分の力になっていることがわかり嬉しかったです。A班の先頭を読図をしながら歩いてくださったれね先輩、あらた先輩は自分のことだけでなく、後輩の私たちのことまで考えて登っていました。来年はわたしのような何もできない後輩を引っ張っていかねばならないと思うと、自分は先輩のようにできるのか心配です。ですが、今年は入部した人数が多いので大人数で協力して何とかやっていけるように頑張ります！まずは先輩方から教わることを自分のものにしていきたいです。(8/14 寄稿)

行事報告

「C31-2 山行」 信越トレイル R1.10.26-27

台風 19 号の影響でアクセスルートが限られ、関田峠～戸狩スキー場までのベストコースを歩きました。予定していた飯山市「水尾」田中屋酒造の酒蔵見学会も浸水被害のため中止しました。

参加者 6 名：山本 (28)、鈴木 (36) +ビジター4 名



「家族園遊会」 R1.11.10 (日) 伊藤みかん園

天候に恵まれおいしいサンマなどの炙り物、鍋や焼き芋、ミカンを堪能しました。

参加者 14 名：後藤 (6) *2、大石(7)、伊藤(10)、阿部(12)*2、山崎(17)、松山 (20)、大谷(21)、高林(25)*2、鈴木(36)*3



「C31-3 山行」 湖西連峰 R1.11.30 (土)

梅田親水公園に集合し、梅田峠～嵩山～仏岩～ラクダ岩～神石山(ホットスープ付昼食)～普門寺峠～普門寺～親水公園

参加者 5 名：青野(13)、高林(25)、鈴木(36)、岩倉(48) *2



「総会」 R2.2.1 (土) クラウンパレスホテル浜松



参加者 9 名：佐々木先生、伊藤(10)、松山(20)、大谷(21)、高林(25)、鶴見(25)、山本(28)、鈴木 (36)、岩倉 (48)

「C32-1 山行」 愛知県民の森 R2.5.24

コロナの影響で公式には延期としましたが、緊急事態宣言の解除により県民の森も再開したため、上臈岩を目指して歩きました。

参加者 2 名：高林(25)、鈴木(36)



上臈岩から鳳来湖を望む



鳳来湖から上臈岩を見上げる

行事案内

「C32-2 山行」 日向山(1660m)

山梨県北杜市にあるサントリー南アルプスの天然水で有名な尾白川溪谷から花崗岩の山を登ります。

日程：R2. 9. 27(日)

※希望者は前日から尾白川溪谷キャンプ場でキャンプ

会費：交通費は車ごとに実費精算予定

集合：①浜松：ヤマビルサービス（西区西山町1830-2）

②現地：尾白川溪谷駐車場

・自家用車乗合で行きます



日向山からは富士山、南アルプス、八ヶ岳などが望めます

「家族園遊会」

日程：R2. 11. 8（日）10:00～

会場：浜松市北区都田町 7767-9 伊藤みかん園

会費：大人 2000 円/人程度

交通：遠鉄バス No. 56「萩丘都田線」

浜松駅 13 乗場 8:54⇒9:37「沢上口」下車

恒例の大鍋、炭焼き、焼き芋秋の味覚を堪能下さい！

もちろん絶品みかんも！※差入大歓迎です！！



油揚げの炙りも香ばしくて美味！

「C32-3 山行」 湖西連峰

日程：R2. 12. 5（土） 9:30 梅田親水公園 P

※天気が良ければ、浜名湖越の富士山が拝めます。

※友人家族参加大歓迎

※神石山で温かいスープを用意します！



「現役サポート」 湖西連峰

日程：R2. 1. 16(土)

集合：例年 8:30 頃 梅田公園

北高山岳部が競技力向上のため、歩荷競走で入山します。梅田峠から多米峠を往復しますので各チェックポイントで保安要員担当します。

協力参加をお願いします。



「新年会」

日程:R3. 2. 6（土） 18:00～ 会場:浜松駅界限 会費:未定

※2019 年から北登会ホームページが変わりました。

お気に入りに登録されている方は修正登録を

※新型コロナ感染状況によっては、中止または延期に

することがあります。最新情報は HP、FB 等で確認を

※返信はがきは概ね 2 週間前までに投函して下さい。

①日向山大至急要連絡 ②園遊会 10/24 締切

③湖西連峰 11/21 締切 ④新年会 1/23 締切

出欠にかかわらず、近況報告を兼ね必ず返信願います。

行事関係問合せ先

事務局：松山 053-474-9267 (TEL&FAX)

tetorunamoko@yahoo.co.jp

事業担当：鈴木 katsumi_hamakita@yahoo.co.jp

今後も C 山行は概ね下記の日程で予定していきたいと思います。春の山行案内は会報発行に間に合わないので、E-mail、HP や F B など周知させていただきます。興味のある方は事務局にご一報ください。希望者には葉書等で連絡させていただきます。

春 4 月か 5 月第 3 土日 R3 年は近畿圏か南信州方面検討中

秋 10 月第 3～4 土日

冬 12 月第 1 土曜日 湖西連峰

北登会関係計報 (R1 秋以降事務局把握分)

平野顯三 様 (4 回) R1. 12. 11

ご冥福をお祈りします。

事務局から報告 (北高部活動後援会関係ほか)

3/11 34 期第 1 回役員会 (6 名)

4/8 年会費納入依頼、行事案内発送 243 通

4/16 部活動後援会常任理事会、理事会 (書面表決)

5/13 部活動後援会総会 (中止)

5/中旬 部活動後援会懇親会 (延期又は中止)

※北高部活動後援会に OB 会費として

毎年 20,000 円を納めております。

ともしび通信

2019年秋以降の北登会フェイスブックなどから転載させて頂きました。

今井寧々(70回) 六甲山



10/9～10/10 須磨浦公園～摩耶山、六甲ケーブル上駅～宝塚駅六甲山全山縦走に挑戦しました。

残念ながら1日目は時間切れで予定していた六甲ケーブル上駅には辿り着けず、摩耶山までしか行けませんでした。綺麗な夜景を見ることができました。次回は神戸観光のついでに歩けなかった摩耶山～六甲ケーブルを歩けたらと思います。友人と夜景観光を計画中です。

六甲山全山縦走大会が10/10に行われたそうですが、出場者は1日ですべてを歩き切るそうです。驚きです！！(11/10投稿)



堀 秀人(35回) 湖西連峰歩荷競争

気合の男子チーム
スタートダッシュもありあり



余裕の女子
1年生チーム

湖西連峰歩荷競争のサポートをしてきました。日頃のトレーニング不足で今回はしんどかったです。若者のエネルギーに圧倒されつつも楽しんで来ました。(1/18投稿)

鶴見敏明(25回) 越前岳(愛鷹山山塊)1,504m



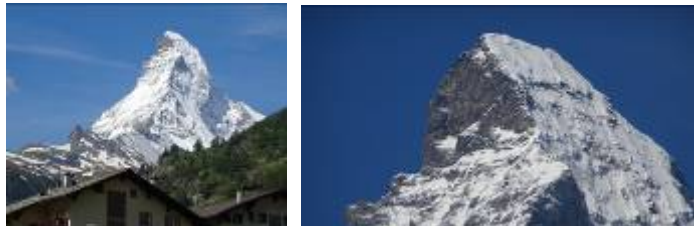
5月28日に北登会同期の松岡君と越前岳登頂。愛鷹山の固有種アシタカツツジが綺麗でした。ほかにもいろんな花に出会えました！期待した富士山の雄姿は雲の中！！でしたが、新緑の緑が眩しくて心地よい山道でした。駿河湾が一望できる山頂でした。

右の写真北登会松岡君は植物博士(5/30投稿)

島 馨 (27回)



日本のマッターホルンの一つ小沢岳に登りました。



ほとんど納得のいくものではありませんでした。至近距離にある筆頭岩の方が上です。ウェストンが筆頭岩に登ったことから察するに彼も似ていると思ったに違いありません。当時の登山道は、妙義神社から中岳神社が主要な経路で途中の一本杉峠が筆頭岩の写真を撮影した場所に当たります。

(6/21投稿)

鶴見敏明(25回)



バーチャル登山。昨年夏山で白馬岳に登った。今年の夏山登山は難しいかも！だから、白馬岳から

白馬大池に向かう途中で見た風景を油絵に描いた。青い空と白いチングルマが綺麗でした。テント村が三密だったので絵ではソーシャルディスタンスを守りました。左がモデル写真（6/23 投稿）

佐々木哲也（54 回）家族で鳳来山を目指す



梅雨の合間を縫って、今シーズン初の山登り。地図や気象に興味を持ち始めた長男、自分の足で歩けるようになった次男。それぞれに山の楽しさを見つけたようで、何よりでした。子ども達は山登りが好きだ。車で遠出ができるし、普段食べられないおやつも食べられるから。はじめの動機はそんなものでいいと思う。きっとだんだん増えていく。鳳来山の山頂を目指したものの、子どもの体力の都合から鷹打場まで。長男はほぼ全て自分の足で登った。次男もよく頑張った。

鷹打場は中々の絶景。大人だけなら、1 時間もかからず、登ることができる。三河の山は登りがいいがあっていい。（7/27 投稿）

鈴木克巳（36 回）



子育て世代の会員と交流をするため、8/8(日)に天竜川船明ダム湖相津マリーナでカヌー体験を企画しました。初めての体験でも 1 時間でスイスイ漕ぐことが出来ました。好評につき 8/30 に 2 回目を開催。

鈴木貴晴（48）親子、岩倉（48）親子、栗山（49）ファミリーなど、大勢に参加いただきました。

初めてカヌーに乗る人でも 30 分も漕げばアメンボのように水面をスイスイ進むことが出来ました。



鈴木克巳（36 回）初めての白山

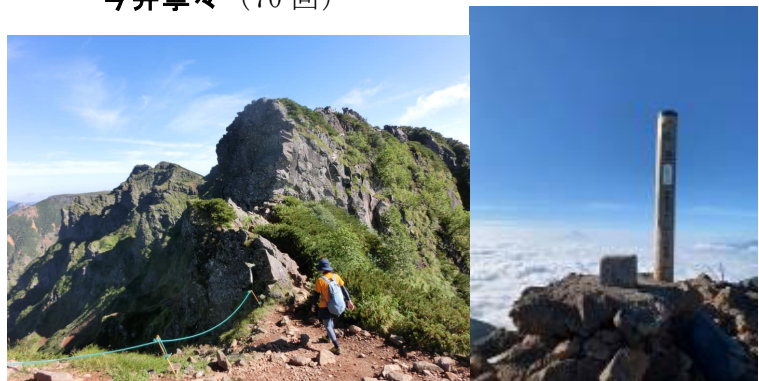


御前峰から白山室堂、南方別山方面を望む

8/20-21 初めて白山に登ってきました。ほぼ快晴の天気にも恵まれ、大汗かいての単独行。小屋もコロナ対策が万全で、平日のため 24 人部屋に 3 人宿泊でした。日没日の出の色の变化を楽しみ、山頂火口部の池巡りでは神秘的な色を楽しみました。



今井寧々（70 回）



8/24-25 で八ヶ岳に行ってきました！行者小屋にテントを張って、1 日目は阿弥陀岳、2 日目は赤岳から硫黄岳を歩き、2 日間で阿弥陀岳から硫黄岳までの稜線がつながるように歩きました。

久々の山にも関わらず 1 日目は 8 時間、2 日目は 10 時間とかなり歩きました。なかなかハードでしたが、かなりの達成感がありました。

高校時代にも八ヶ岳への山行はありましたが、私は参加できず心残りでした。そのため、八ヶ岳にはずっと登りたいと考えていたので、今年こそ登ることができて嬉しかったです。（8/29 投稿）

第34期会計報告

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

収入の部

入会金	0
年会費	303,000
雑収入	22
前期繰越金	671,927
収入合計	974,949

支出の部

総会費	3,800
会議費	0
通信費	115,926
事務備品費	40,509
渉外費	28,000
会報発行費	42,876
その他事業費	22,284
山岳用具購入費	91,746
遭難対策基金積立	0
予備費	0
支出合計	345,141
次期繰越金	629,808

遭難対策基金積立累計	3,420,000
------------	-----------

第34期事業報告(令和元年度)

1. 現役生との交流、サポート
部活動後援会(会費納入、顧問との交流)
6人用テント貸与(北登会購入品)
月例山行夏山合宿等差し入れ(サブプリメントなど)
歩荷競走保安要員1/18 湖西連峰 4名
2. 会報の発行 春秋各600部印刷
春号6/26 発送453通、秋号9/30 発送453通
3. C山行
C31-1 R1.5.25-26 霊前山 8名参加
C31-2 R1.10.25-27 信越トレイル 6名参加
C31-3 R1.11.30 湖西連峰 5名参加
4. 家族園遊会 14名参加
R1.11.10(日)都田 伊藤みかん園
5. 新年会 9名参加
R2.2.1(土) クラウンパレスホテル浜松
6. 遭難対策基金積立
0円 累計3,420,000円

第35期北登会役員(令和2年度)

顧問	山崎正敏(17)
会長	高林 宏(25)
副会長	山本寿彦(28) 鈴木克巳(36)
会計監事	阿部邦彦(12) 山崎正敏(17)
会計	松山英達(20) 事務局兼務
常任幹事	大谷一雄(21)、鶴見敏明(25)、 深谷直久(41)、北嶋敏明(43)、 鈴木貴晴(48)、大東たかし(50)
HP管理	鈴木貴晴(48)

第35期事業計画(令和2年度)

1. 現役生との交流、サポート
部活動後援会
月例山行、夏山合宿支援(差入れ、サポート参加)ほか
クライミングウォール改良(新規ルート設置等)
1/16 湖西連峰歩荷競走保安要員派遣
2. 会報の発行
秋号9月上旬発行(600部印刷予定) 会員+生徒等へ配布
3. C山行
C32-1 5/24(日) 愛知県民の森(上臈岩)
C32-2 9/27(日) 日向山(山梨県北杜市尾白川溪谷P～)
C32-3 12/5(土) 湖西連峰(梅田峠～大岩コースなど)
4. 家族園遊会
11/8(日)都田町 伊藤みかん園
5. 若手会員交流イベント(随時開催)
キャンプ(焚き火)、カヌー、沢遊び、サイクリング、
スキー、スノーシュートレッキングなど各種体験
6. 新年会
2/6(土) 会場未定
7. 遭難対策基金積立
積立累計金額を維持

編集後記 会報編集担当 鈴木克巳(36回)

会報の内容はいかがでしたでしょうか?ネット印刷導入などによりコスト削減努力を重ねてきましたが、編集担当の負担軽減や発送費用の高騰など予算上の都合もあり、今年度から年1回の発行とさせていただきます。

H15.9発行の17号から編集を担当させて頂いており、H24.5発行の26号から春秋の年2回発行として紙面を増やし、現役山岳部情報や、OB会員の近況報告などを可能な限りお届けさせて頂きました。

今号もともしび通信としてSNS投稿からの転用を多用させて頂いております。同じ会員の情報に偏り、若干マンネリ感があり申し訳ありません。

今年の北登会の2本柱は、現役支援と若手OB会員との交流です。現役山岳部は1.2年生合計36名(うち女子12名)と大所帯で、正副顧問3名では大変な状況です。OB会としても可能な限り支援をしていきたいと考えています。

また北登会の懸案事項である世代交代です。子育て世代が家族で気軽に参加できるような行事を企画しますので、ぜひ若手のOB会員の参加をお願いします。

手始めにカヌー体験を企画しました。秋には焚き火キャンプ、冬はスノーシュー体験を考えています。

編集発行 北登会事務局 松山(20回) 〒432-8004 浜松市中区文丘町 29-29 TEL・FAX 053-474-9267 令和2年9月600部発行 通算第42号
--